

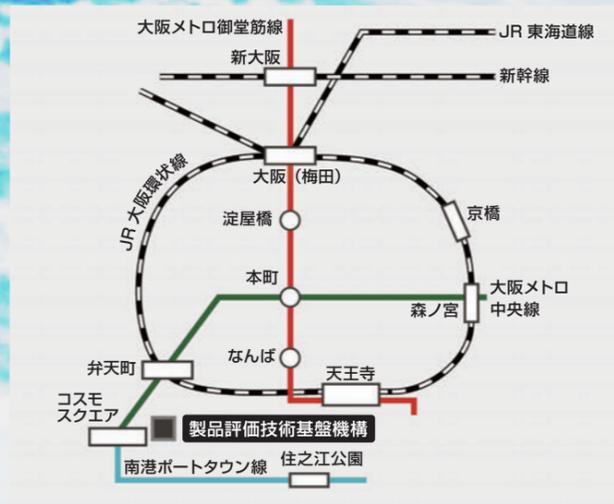


世界最大規模 大型蓄電池システム試験施設

ACCESS

鉄道でのアクセス
・大阪メトロ中央線
「コスモスクエア」駅
2番出口から徒歩約10分

自動車でのアクセス
・関西国際空港から約50分
・伊丹空港から約40分
・新大阪駅から約30分



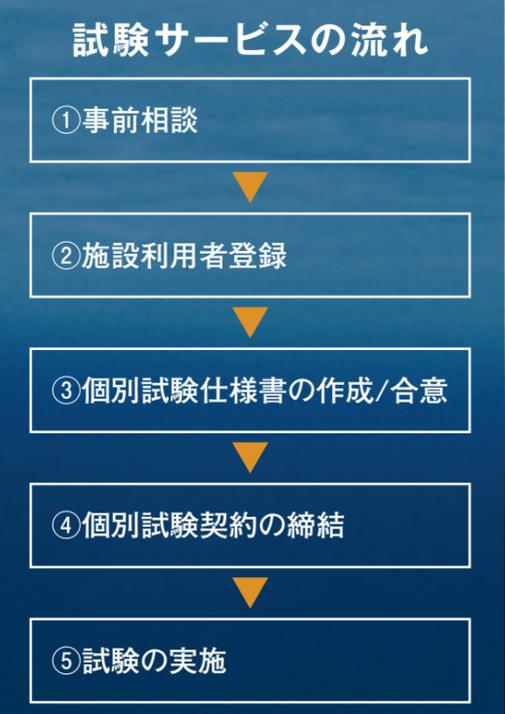
<http://www.nite.go.jp/gcet/nlab/index.html>

独立行政法人製品評価技術基盤機構
国際評価技術本部
蓄電池評価センター
〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16
Tel. 06-6612-2073
E-mail. nlab-sd@nite.go.jp

● 大型蓄電池とパワーコンディショナを組み合わせたシステムとしての各種性能試験等については、国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所(FREA)で試験評価が行えます。

Tel. 024-963-0818
E-mail. frea-ss-info-ml@aist.go.jp

NLABとFREAのどちらで対応可能か不明な試験については、適切な実施方法をFREAと共に検討しますので、NLABまたはFREAまでお問い合わせください。



蓄える技術を、世界基準へ。

世界が求める、安全と信頼。ここからグローバル基準は生まれる。



NITE
公式ホームページ



YouTube
公式チャンネル



X
公式アカウント



note
公式アカウント



Instagram
公式アカウント



National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

世界最大規模 大型蓄電池システム試験施設



NLAB MIDDLE Chamber (Multiple Innovation-Directive Development and Leading-edge Evaluation Chamber)

先端技術評価実験棟

- Large Chamber と同等の耐爆・耐火性能に加え硫化物系全固体電池の試験に対応可能な排煙処理施設を装備し、硫化物系全固体電池の試験にも対応しています。
- 長辺24m、短辺18m、高さ16m



NLAB Large Chamber

多目的大型実験棟

- 万が一の爆発、燃焼に備え十分な耐爆、耐火構造と排煙処理設備を装備しています。
- メガワットクラスの大型蓄電池の試験が実施可能です。
- 長辺30m、短辺18m、高さ16m



MIDDLE Chamber内部

- 大規模な試験空間に必要な試験装置等を持ち込むことで、自由にカスタマイズした試験評価に対応できます。

試験施設の利便性の向上

- MIDDLE Chamber では試験室、充放電設備室、作業準備室及びユーザー控室を併設し、試験実施時の利便性を向上させています。



MIDDLE Chamber・Large Chamberで実施可能な試験例

- 充放電試験：MWクラスコンテナサイズの充放電装置試験が実施可能です。
- 水没、浸漬試験：水害、津波を想定した、蓄電池盤サイズまでの水没あるいは浸漬試験が実施可能です。
- 類焼試験：一つのセル、モジュールが発火した場合に周辺への類焼が起こらないことを確認する試験が実施可能です。
- 全固体電池試験：硫化水素の発生を伴う硫化物系全固体電池の試験が実施可能です。(MIDDLE Chamberのみ)

NLAB Testing Facilities 機能別実験棟

- 6つの試験室において大型のモジュール、盤サイズ蓄電池の各種試験が実施可能です。



地震波再現試験

東日本大震災、阪神淡路大震災等の地震波を再現可能です。



国連輸送振動試験

国連輸送規格等に基づいた振動試験が実施可能です。



破壊試験

最大荷重300kNでの釘刺し処理、圧潰試験が実施可能です。



ARC(断熱型暴走反応熱量計)

大型セルやモジュールレベルの試験体の様々な熱力学的データの測定を行うことが可能です。



充放電試験

温度可変環境下での充放電試験が実施可能です。



環境試験

低温・高温、低湿・高湿の環境を再現可能です。



直流遮断試験

下記の仕様で外部短絡試験、遮断試験が実施可能です。

- 外部短絡試験装置(左)性能：1500Vdc/15kA
- 半導体遮断装置(右)遮断性能：1500Vdc/30kA/1msec. ~



NLAB Power Unit

試験用設備

- 被試験体の充放電用に2MW/2MWhの入出力が可能な独自の蓄電池システムを装備しています。
- 50/60Hz両方の試験が実施可能です。
- 日本、欧州、米国を想定し、複数の電圧に対応します。

